

足利風 -ashikaga-fu

2017
4月号
Vol. 49



画：中山 キッコ

足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市

大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

HP QR コード



☆ ご案内 ☆

- *特集！
- *TOPICS
- *私のボランティアことはじめ
- *サークル紹介
- *インフォメーション
- *センターからのご案内

「関係性の貧困」～子どもたちの魂は明日に住んでいる！

子どもたちは無限の可能性を秘めている。しかし、家庭が貧しいために能力を発揮する機会を奪われている子どもたちもいる。OECD(経済協力開発機構)が公表した日本の子どもの相対的貧困率は、2009年15.7%、2012年16.3%と増加傾向にあり、OECD平均の13.3%を上回っている。相対的貧困率を語るなら、ひとり親、特に貧困に陥りやすいシングルマザーを社会全体で救っていくのかの議論や指摘がなされるべきであり、早急に対策がなされるべきである。いま注目されているNPOなどによる“子ども食堂”は、貧困などの事情を抱えた子供たちに、温かい食事やホッとできる居場所を提供するだけでなく、虐待など子どもたちの“SOS”に気づくセーフティネットの役割も担っている。生まれ育った環境に左右されず、子どもたちが夢や希望を抱きながら成長できる社会を目指したい。そのためには「食事だけでなく、コミュニケーションが大事だ!」。貧困は経済面だけがクローズアップされがちだが、子どもたちの社会性を育む視点からも、「関係性の貧困」に注目したい。子どもたちへの支援は行政やNPOなどでなくてもできる。一人ひとりが、近所の子ども(地域の宝もの)と普段からのコミュニケーションを大切にすることでいいのだ。この社会の未来への投資のはじめの一步は…ここから始まる。



レバノンの詩人・ジブラーンは「預言者」の中で、“子どもについて”このように書いている～あなた方の子どもたちは、あなた方だけのものではない。/大いなるいのちの憧れの息子たちと娘たちなのだ。/かれらはあなた方の躰を通過してやってくるけれども/あなた方から生まれるわけではない。・・かれらのからだに寄り添ってもよいが/魂に近づいてはな

らない/なぜならかれらの魂は明日に住んでいるのだから…。

(M生)

NPO・ボランティア講座盛況！

平成28年度 NPO・ボランティア講座「ボランタリーなまちづくり」が、2月4日(土)午後、生涯学習センターを会場に開催された。参加者は各分野で活動されているボランティアたち四十数名。1部は安藤正知(NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房理事兼事務局長)さんの講演「豊かな地域を目指して私たちにできることを考える」。2部は3グループでワークショップ。それぞれのファシリテーターは「歴史・文化」は益本 仁(あしかが・さぼーと会代表)さん。「子ども」は櫻井淳子(児童養護施設職員)さん。「高齢者」は菅沼一三雄(NPO 法人快活事務局長)さん。子どもなどの参加者はいなかったが、活発な実り多いワークショップとなった。

* 自然の中での“遊び”を教育の軸に据えて・・・*

～菅沼 一三雄～



名草でまちづくりをしている NPO 法人に籍を置いて 10 年。その後、私が中枢となって設立した、高齢者が生き生きと暮らせる足利のまちづくりを願った NPO 法人は 4 年が経過した。現役時の経済活動は指定管理者という制度で、業界を先導して、地方自治体から公営住宅の管理業務を、民間の業界団体(協同組合)で受託したものである。10年継続している。現在では、こうした活動は全国各地に拡がり、民間個人事業者でも公(おおよけ)の業務を受託できるという自信が生まれきた。

非営利活動をする中で、“まちおこし”や“教育”にますます関心を持つようになった。社会教育委員となったことで行動の機会を与えられた。私が今後取り組みたいと思うのは、学校教育と社会教育のコラボである。県内の先進事例としては、鹿沼市の板荷では、教育委員会が主体となって学社融合を実施しているようです。

足利市においては、多くの NPO の会員の中に、優れた技能を持った方々が在籍しています。各地の公共施設や学校からの要望に応えられるような仕組みを構築して、教師は本分である教育に集中できるようにしたい。教育以外のことは地域住民や NPO が協力して解決し、教師の負担を無くすようにしたい。

もう一つ考えていることは、子どもたちの協調性やコミュニケーション能力を、“遊び”を通して育みたいということ。“遊び”を教育の軸に据えることで、思いやりや協調性を学ぶことができる。世に出た先人の多くに「子どもの頃は、学業よりも遊びに熱中して過ごした！」という発言が目立つのもこうした考えの根拠の一つである。そのような趣旨から、自然の中で遊ぶ優れたリーダー(指導者)を学校に派遣したいとも思っている。



* 山前観光協会の設立に寄せて *

平成 27 年 4 月 1 日、足利市内で 14 番目の地区観光協会として設立致しました。設立より遡る事 4 年前、設立のためのプロジェクトチームを 10 名で立上げ、山前地区に点在する史跡・歴史・文化等を取り纏めました。観光以外でも、山前地域の核となれるよう、施策も多数用意し、四季を通して活動出来る様、また地域の絆を今以上に強く出来る様、今後とも知恵と汗を出して邁進する所存です。

益本 仁

① インフォメーション ①

☆「まちの縁側」～読書サロンへのご招待～

だれにでも心に残る一冊の本があります。童話・小説・詩集・・・等々。
その一冊の本を導きの糸として、案内人を囲んで、参加者のみなさんと一緒に、
ワイワイガヤガヤ・・・と。新しい人との出会いや物語を紡いでみませんか。
どうぞ、お気軽にご参加ください。

★4月21日(金) 2:00pm～4:00pm

* 本 : 「風の歌を聴け」(村上春樹)

* 案内人: 森田芳己さん

* ひとこと : “～1970年の夏、あの日の風は、ものうく、ほろ苦く通りすぎていった。僕たちの夢は、もう戻りはしない～世界的な人気作家となった村上春樹の群像新人賞を受賞したデビュー作です。青春の一ページを村上春樹流のタッチで描いた傑作を、みなさんと一緒に読み、語り合いたいと思います。ぜひ、ご参加ください!”

★5月19日(金) 2:00pm～4:00pm

* 本 : 「運命を拓く～天風瞑想録～」(中村天風)

* 案内人: 木村 寛さん

* ひとこと : “数奇な運命をたどり、死線をかいくぐり、遂には「積極的人生の教え」に辿りついた哲人・中村天風の～怒らず、怖れず、悲しまず、正直、親切、愉快地に生きよ!～という人生の幸福が開かれる、感動の教えの詰まったこの本を私は数十回読み続け、今こうして生きています。みなさんと一緒に楽しく読み、語りあえる幸せを感じています!”

■会場: 足利市民活動センター ■参加費: 無料

■お問い合わせ・事務局: 足利市民活動センター ☎44-7311

* センターからのご案内 *

☆みんなの広場 ～ 4月・5月のご案内 ～

- * 創作和人形&つるし雑 展 (4月 3日～4月13日)
- * 四季折々の風景写真 展 (4月17日～4月27日)
- * 鎮魂・木彫の地蔵仏像 展 (5月 1日～5月18日)
- * 心震わせる古時計 展 (5月22日～6月 1日)

☆相談室&講座のご案内

* 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照

* 講 座 = 毎月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

編集後記

まだ着なれない学生服を着て嬉しそうに恥ずかしそうな顔をしている学生をみて、「自分もこうだったのかな」と、なんとなく懐かしい気持ちになりました。新年度になり、別れと出逢いがありますが、皆さんにも素敵な出逢いが訪れますように。(すずうさぎ)